



女司祭をフタナリアナル
排泄奴隷に調教する

1 目 目

敵国の司祭を捕らえた

気位が高く、近寄りがたい雰囲気
の女だ



こういう女は、その意思の強さも手伝って
多少の責め苦を与えたくらいでは、私に屈服しないだろう

これからどのように調教し、私の奴隷としようか…



まずは：身体を淫らな肉体へと改造し、
背徳の快樂漬けにしよう

肉欲に溺れさせ、快樂の虜へと墮とすのだ

そうすれば、いつかは陥落し、快樂の虜へと墮ちるだろう





何をするのです!!

今すぐ離しなれ!!

くっ

女を拘束した

触手に嫌悪感を表しており、
抵抗の意思を見せている

私はこの女と会話する気はないので、
それに構わず肉体改造を開始する

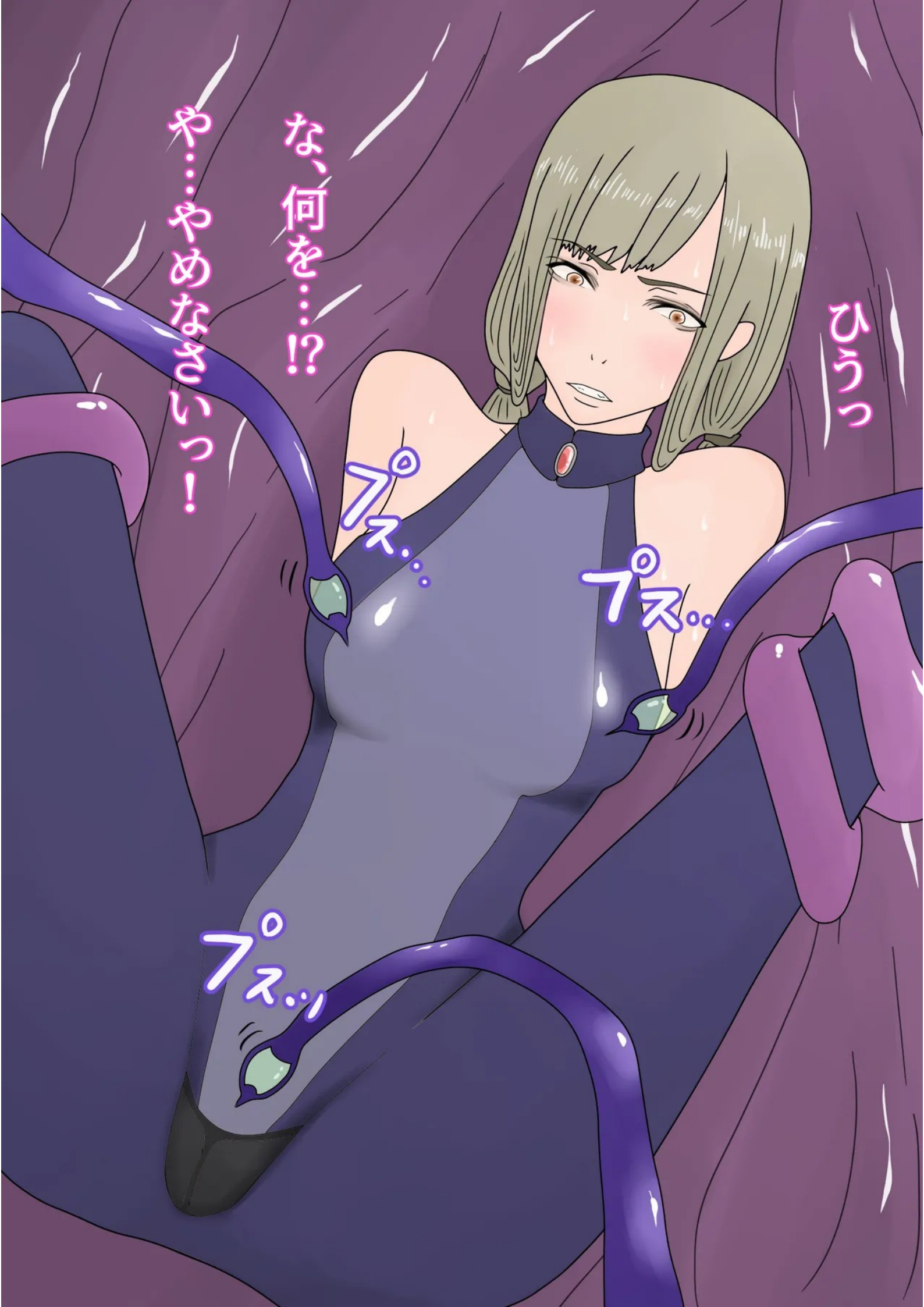




ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ
ズ



や...やめなさいっ!!

な、何を...!?

プス...

プス...

プス...

プス...

い…一体何を…!?

何かを…
注入している…?!

ドクン…

ドクン…

ドクン…



い…今すぐやめなさい…!!

私にこのような事をして…
ただでは済みませんよ!?

ドクン…

ドクン

ドクン…



注射触手を使い、乳首とクリトリスに薬液を注入した

この薬液は、女を性奴隷へと
肉体改造するための魔薬だ

これにより、突起物の性感度を上げ、
巨大化させることができる



薬の効果はじきに表れるだろう

本日の調教はここまでとし、
明日、続きを進めることとする……



2 目 目

薬液の効果は上々のようだ

ハア
ハア

服の上からでも乳首とクリトリスの
膨らみが確認できる



見た目上、巨大化したのは良いが、
感度も向上しているか、確かめることとしよう

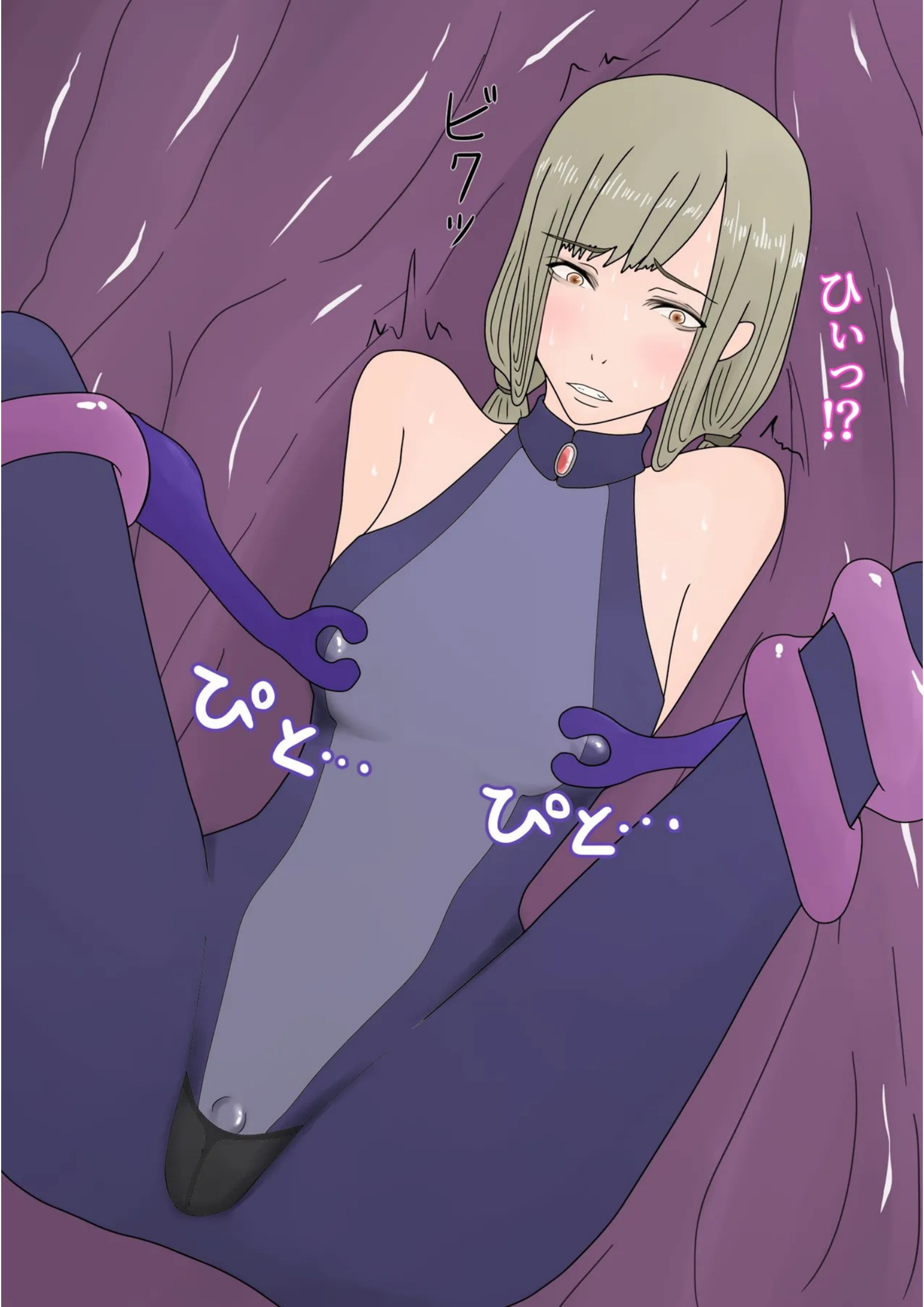
私を…解放しなさい…

今ならまだ許されます…!!

ハア
ハア

ズズズ…

ズズ



びびり

はっはっ!?

んんん...

ひひひ...



や……!

何を……っ!?

いびきいびき……!

ぎゅんぎゅん……

ぎゅんぎゅん……



あああ……っ

い……いんな……

ああっ……!!

ぎゅんぱんぱん

ぎゅんぱんぱん

ブル

ブル

ブル



な...何を!?

べつべつ

どいしを触って...!?

いひいひ!?

びひひ



あああっ!?

ああっ!

びびびび

びびびび



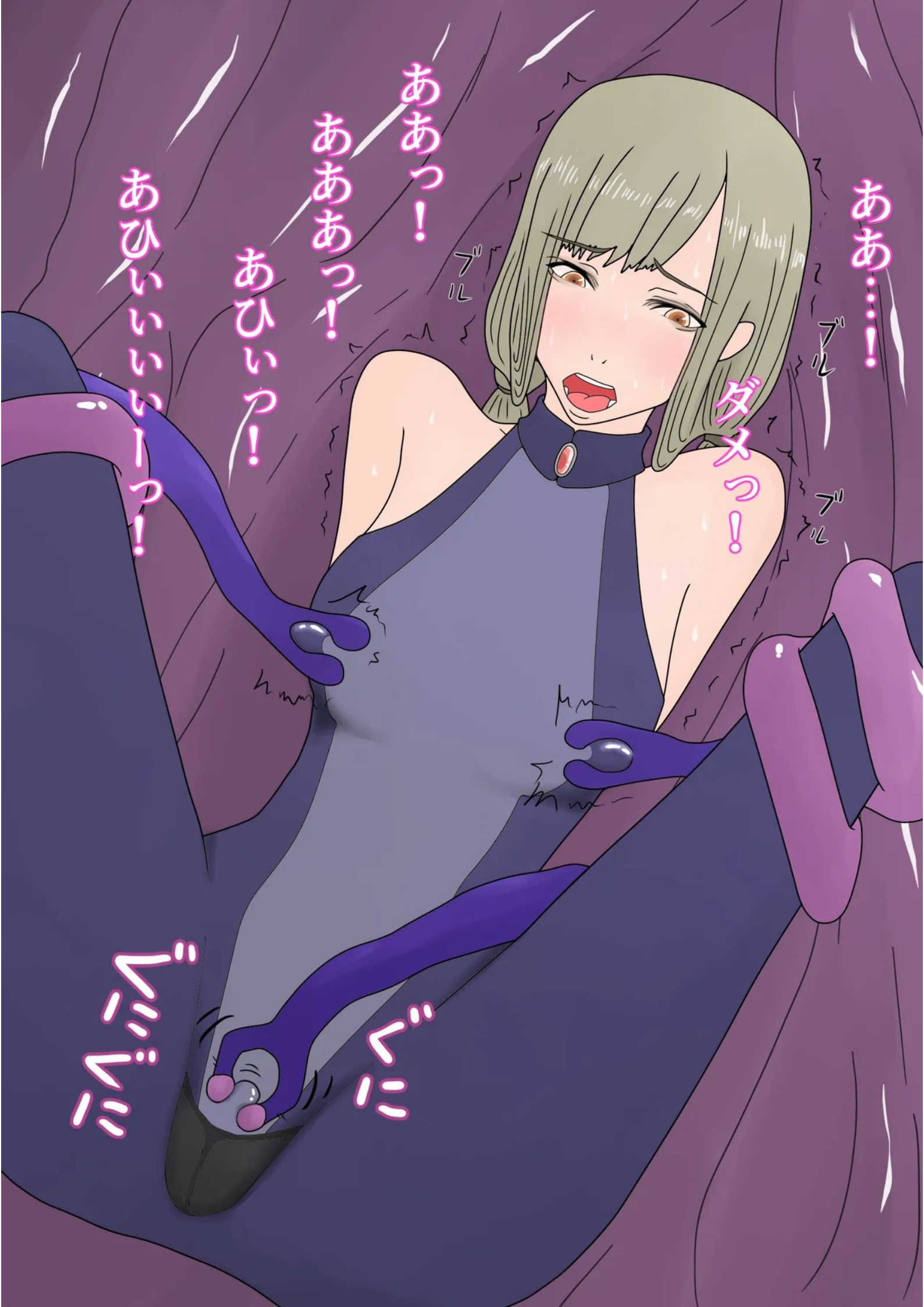
あひっ!あひっ!

や...!!

やめ...っ!

ヒッヒッ

ヒッヒッ



ああ……!!

ダメっ!!

ああっ!!

あああっ!!

あひいっ!!

あひいっ!!

ビビッ

ビビッ



ああああ...っ!

ゴクゴク

ゴクゴク

カアッ



どうやら絶頂したようだが、初めての経験のようだ

自身に何が起きたのかわからず、戸惑っているようだ

さすがは聖職者、オナニーもしたことがなかったのだろう



感度の改造も良好そうなので、
さらなる肉体改造を進めよう

いや...

ひっ...

薬の量を増やし
クリと乳をさらに巨大化させ
感度を飛躍的に向上させるのだ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



や...やめなれっ...

それ以上

その薬を使うのは...っ!

だ...だめ...っ!



プス

プス

プス

プス

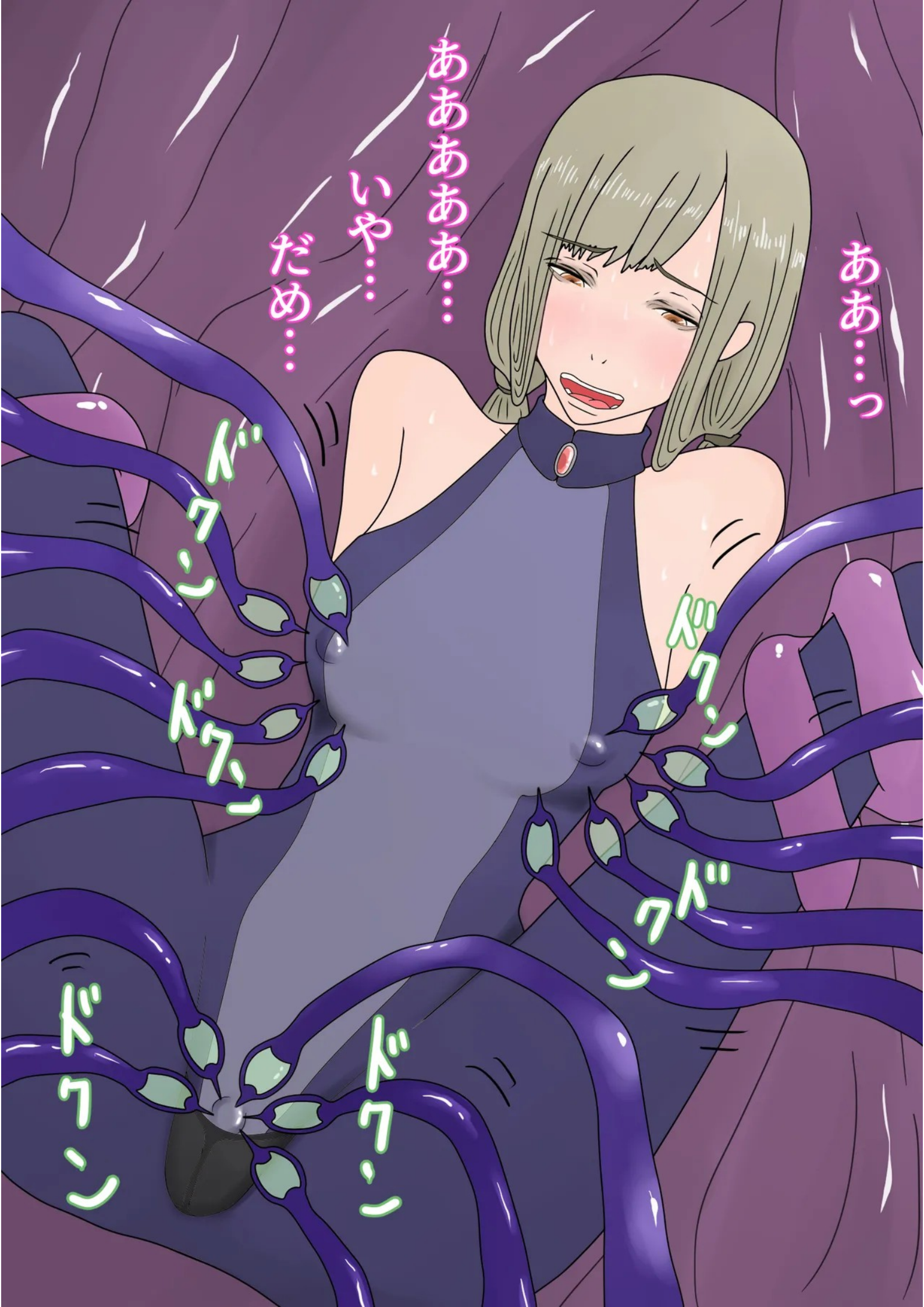
プス

プス

プス

プス

プス



あああああ……

いや……
だめ……

ああ……っ

グググ

ググ

ググ

ググ

ググ

ググ

薬の効果でどれほど巨大化するだろうか

これからの成長が楽しみだ…

ドクン
ドクン

ドクン

ドクン

ドクン

ドクン



7 目 目

薬液注射を1週間続けた

ハア
ハア

乳首、乳房、そして、クリトリスは
異様な大きさにまで
巨大化した



見た目は合格だろう
次は感度をチエツクする

うっ...

うっ...





何を...

ああ...

ズ
ズ

ズ
ズ
ズ



ゴッゴッ

ゴッゴッ

ガッ

グッ



あひっ!?

らびっ……!

そんな……!

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ



ああ…

あああああつ…!!

あ…

だ…だめ…!!

“カ” “カ”

“カ”

“カ”



だめえっ!

止めてっ!

動かさないでえっ!

ああああっ...!!

んんん

んんん

んんん

んんん



あああつ!
あああつ!
あああつ!

ああつ!

カ
カ
カ

カ
カ
カ



いや...

こんな...

いんないで...

ビク
ビク

ビク

ああ...

感度も良好のようで、
虐め甲斐のある肉体になったようだ

肉体の改造は完了したと言えるだろう



調教を次のステップへと進めようと思う

いや...

やめて...
うせ...





んぐっ!?

が

ほおっ

ほおっ

んんっ

プッ

プッ

プッ

肉体の改造が完了したので、次は精神面を調教しよう

んぐり...!

んぐり...!

まず、これまでは違う薬を用いることにする

強力な媚薬と精力増強剤だ
これを女の肉体に注入する

ドクン...

ドクン...

ドクン...



聖女もたちまち淫売娼婦へと変わる魔薬だ

数日もすれば、

この女も性欲に塗れた獣へと
生まれ変わっているだろう

数日後が楽しみだ…

ドクン…

ドクン…

ドクン…



10 目 目

媚薬と精力増強剤を注射し続けて3日が経った

そろそろ仕上がっている頃だろうか







ツツツ

んんっ……!!

んん

んん
と



んんん…っ！

んんんんん…っ！

んん

ん

ん

ん

ん

ん



んほおおおーっ!

グビュ

グビュ

ふむ…乳首の感度も良好だ

んん…っ!

んんっ!

乳首を捻り上げるだけで
絶頂したようだ

ズ
ズ

ズ
ズ
ズ





ゴックン

んー! めろめろ

ガッ



んんんんんんっ!

んんっ!

ガッガッ
ガッガッ

ガッ
ガッ
ガッ



びゅん
ど

ん

びゅん
ど

よっぽど溜めていたのか、
クリトリスを掴んだだけで絶頂してしまったようだ

ビクッ、ビクッ

しかしながら、

精力増強剤を注入しているので、

何度でも絶頂することができるはずだ

ニク
ニク
ニク

ニク
ニク
ニク



女は絶頂直後だが、それに構わず、クリトリスのシゴキを開始する

んんんっ！

ビクッ、ビクッ

んんっ！

ビクッ、ビクッ

ムク
ムク

ムク
ムク





んぐりーん！
んぐりーん！
んぐりーん！

んぐりーん！
んぐりーん！
んぐりーん！

んぐりーん！
んぐりーん！
んぐりーん！



האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

האנשים האלה הם גזע של פראיירים!

薬はうまく効いていそうだ

んふうううーっ！

んふうううううーっ！

あとはどれだけ連続で

絶頂することができるとか…

肉体の限界を調べることにしよう

どっぴゅ

ゅうっ

んんんん

んん

んん





が

あ...

あ...

が
が
が

が

が

が



お…お願い…

ああ…

ガッ

ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

も...も...も...

ガクガクガク

ガク

も...も...も...

ガク

も...も...も...

強く擦ってええええ...っ!

ハハハ

ハハハ

ハハハ



足りないのおっ!

イカせて!

もっとイカせてえ!

もっと激しくしてええっ!

ムムム

ムムム





あああっ♡

イ…イク…っ♡

またイクううっ♡

ああっ♡

「ん」

「ん」

「ん」



イクうううううううう♡

グッ、グッ、グッ

グッ、グッ、グッ

どっぴゅっ

んっ

んっ

んっ

あああああーっ♡

ガクガク

ガク

だめえええーっ♡

ガク

もっと…もっとイかせてえーっ♡

強くしてええー♡

ニク

ニク

ニク

ニク



その日は女が力尽きるまで責め続けた

女はあらゆる穴から汚物を垂れ流し
満足そうな表情で気絶していた



時間はかかったが、
女の改造調教は無事完了したといえるだろう

これからは私の家畜奴隷として
生活していくのだ…



15
目
目

女を家畜奴隷として
飼いはじめて数日が経った



調教を施してからは、
すっかり態度も従順になり
素直に言うことを聞くようになった

ただし、調教の副作用もあったようだ

巨乳化した乳から出る母乳が止まらず
常にお漏らしの状態となっていました



そこから中に母乳を撒き散らしていたが

今は乳首パッドを装着することで
撒き散らさずに済んでいる



おはようございます。
ご主人様……



本日も…

変態の私が、さらなる変態へと
なれるよう
変態性癖の開発をお願いします…



調教前の口上も述べられるようになった
調教は順調のようだ

それでは、本日の調教を開始しよう



ご主人様

私のいやらしいケツ穴は
見えますでしょうか

女が調教のためのポーズをとった

私の言いつけ通り、肛門がよく見える格好だ



それでは…

準備を開始しますので
少しお待ちください





ん
ん
ん

ん
ん
ん



で...お尻...で...お尻...で...

んはあ...っ

ン
ン
ン
ン
ン
ン





あはあああ...っ

んん...っ

んんん...っ

ゾゾゾ
ゾゾゾ
ゾゾゾ

ゴ...

ゴゴ...

ム...

ム...

ム...

女の腸内には大便を模擬した
バイブを3本埋めてある

今日はアナルの調教をするが、
そのためにはまず、

バイブを排泄する必要があるのだ



順調に1本目のバイブが出てきたので
そろそろバイブの電源を入れよう





だめ...め...め...

あひいっ!

ン
ン
ン
...

ン
ン
...

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ



おほおおつ!

グン
グン
グン

ぽん
ぽん
ぽん





ああん...

あ...ああ...っ

くく

くく

まずは順調に1本目が排泄できた

褒美として触手を1本与えてやろう

ㄱㄱㄱㄱㄱ

ㄱㄱ

ㄱㄱ





あぁあ...っ

あひいんっ!

ガッ

ッ

クッ

クッ



だめえ...っ

ああんっ

ニクニク

クク

クク



んんん...

ん...

カッ

んんん...

ん



あああ...

んは...

カキカキ

ムム...



あああああつ

あひいいんっ♡

ズクズク

ゴ...

ゴゴ...

ム...

ム...

ム...

ああっ♡

あひっ♡

あああ♡

だ…だめ…っ

ニクニク

ブブブ

ブブブ





んぢゅ...っ

んぐっ

んぢゅ...っ

んぢゅ...っ

んぢゅ...っ

んぢゅ...っ





あひひひひひひっ!

んんんんんん

ぽん

んん

んん

あぁっ

あひいっ

だ...だめ...

ご主人様...

ズクズク

クク

クク



2本目も排泄し、いよいよ最後の3本目だ
女には3本排泄するまでは
絶対に途中で絶頂しないように、
と命令している

ああっ♡

あっ♡

ブルブル

クク

クク

そして、命令を守らず、途中で絶頂すると
厳しい罰を与えるように伝えてあるのだ

さて、2本目を耐えたっ！褒美に
更に2本の触手を与えてやろう



ズクズク

クク

クク



あひいいいいーっ♡

いひっ!?

すちゅすちゅ...

すちゅすちゅ...

んんんんん

んん

んん



あああああー♡

だめえええー♡

ぎゅぎゅ

いんな...♡

ぎゅぎゅ

いんなの♡

ズクズク

ズク

ズク



あひいいいいっ♡

いんなのダメエっ♡

んんんんん

んん

んん

イツちやいらますっ♡

すぐにイツちやうううーっ♡

んんんんん

んんんんん



あああ...
あ...あ...あ...

ズンズン

ズンズンズンズン

だめえええ...
だめえええ...

ん...
ん...ん...

ズンズン





ウツウツ...

ウツウツ...

ウツウツ...

ウツウツ...

カキカキ

カキカキ...

カキ



んあ……っ

んあ……っ

んあ……っ

んああああ……っ

んひひひひひっ

ズカズカ

ムリ……ッ



んああっ

んあひいっ

んあひいっ

んあひいっ

ああ……っ

あああっ

んあひいっ

グ……

ググ……

ム……

ム……

ム……



ああっ

あああああっ!?

びびび

だ...だめっ

びびび

あひいいんっ♡

ビクビク

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ



あっ♡

あひっ♡

びびび

んんんん

あああっ♡

あああああーっ♡

ブブブブ

ブブブブ





あああああああーっ♡

ガクガク
ガクガク
ガクガク

ガクガク
ガクガク
ガクガク

ビョビョ

だめええーっ♡

ズクズク

ブ
ブ
ブ
ブ

ブ
ブ
ブ
ブ





とっ

びゅん

あひいっ♡

びゅん

ググググ

ググググ



あ...

あ...

あ...

あ...

ほ



あああ

あ

ク

ク

私の命令を破り

バイブを排泄する前に絶頂したようだ

あああ...

お...お許しを...

ガッガッ

ガッガッ
どうか...

はしたない雌豚には
罰を与えなくてはならないだろう

クッ

クッ



懲罰用の触手の準備を開始する





んんっ

んんっ

んんひへえ……っ

んはあ……っ





んんうっ!

んんうっ!

ちゅっ

ちゅっ

ずちゅっ...
うっ...
うっ...





んんんっ!

んんんっ!

ズ
ズ
ズ
...

ズ
ズ
...



んげんるーり

んげんるーり

んげんるーり

んげんるーり

乳首とクリペニスを触手でつなぎ
媚薬と精力増強剤を注入した

次に、女のアナルに特殊な
アナルパイプを挿入する。

ズ
ズ
ズ





んんんんん
♡

んんんんん
♡

いっほいっほ

とびっ
とびっ
とびっ

とびっ
とびっ

びびっ
びびっ
びびっ
びびっ

びびっ
びびっ
びびっ
びびっ

30 日 目

おはようございます
ご主人様

朝の挨拶とともに女が現れた

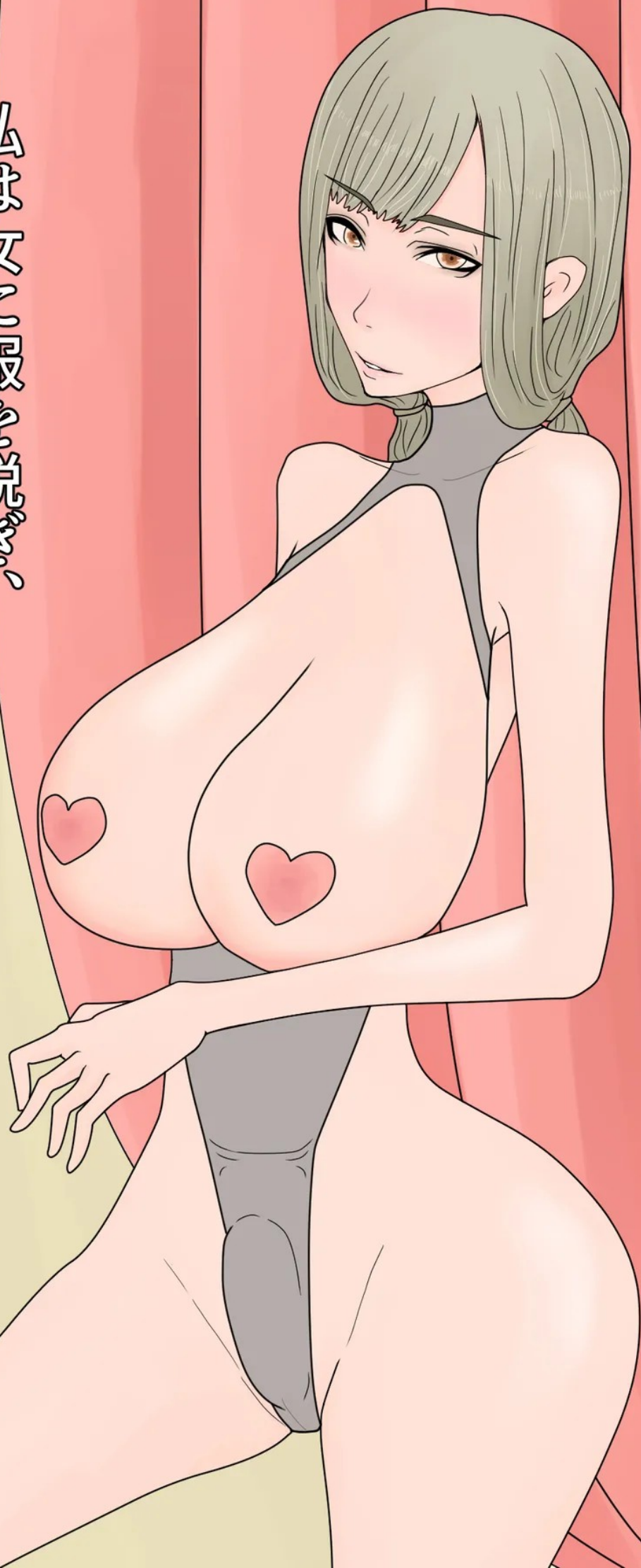


この女の調教は完了したと言えるだろう
雌奴隷としての行儀やマナーも身についた
もう教えることも何もないので、

今日はその肉体を可愛がってやることにしよう

私は女に服を脱ぎ、

ケツ穴をこちらに向けてるように命令した



あああ♡

ご主人様…♡

私の恥ずかしいケツ穴は
見えていますでしょうか？



雌奴隷としての行儀も覚え、
性交の前には淫らな口上も
述べられるようになってきた

本日はご奉仕する機会をお与えいただき
誠にありがとうございます。



私は醜く淫らな変態の雌奴隷です…♡

ああ、ご主人様…♡





ご主人様に^ご奉仕することと、
オナニーすることしか
考えていない変態女なのです♡

^ご主人様に^ご奉仕すると胸が熱くなり、
幸せな気持ちで一杯になります♡



オナニーは毎日していますが、
一度始めると止まらなくなるほど大好きです。

特に、ケツ穴のオナニーが大好きで、
前立腺を弄り過ぎて、前立腺が
大きなコブのようになってしまいました。

変態雌豚の私に相応しい
淫らなコブができて嬉しく思っています♡



あああつ♡

ご主人様♡

愛してらます♡

心から愛してらます♡



ご主人様のことを考えると、胸がドキドキし、
クリトリスが勃起し、オナニーが止まりません♡
ケツ穴を弄ってくださった時のことを思い出すと…

あ♡

ああ♡

ゾクゾク
ゾクゾク
ゾクゾク





とっ

グンッ

ぴゅ
うっ

あああああっ♡



ふふふ...

ふふ...

あひいいい...

過去の調教を思い出したのか、
口上の途中で絶頂したようだ。

うんうん...

口上はまずまずの出来だが、
まあ合格としてやろう。





お…おちんぽ…
♡

あ♡
ああ♡

あああああ……♡

ああん♡

あ
ん





入って来てるっっっ

あはあああっ

あはあああ

あはあああ



あひん♡

コニッ

ビ
ン

あ♡

あ♡

そっ♡お♡

フニ♡
フニ♡

フニ♡
フニ♡

前立腺のコブがあっ♡

コリコリするのをおおっ♡





とっ

ビクン

ぴゅ
ぱん

あひいん

フ
フ

フ
フ

コブがペニスの亀頭を擦り、
なかなかの心地良さだ。

あ♡
あ♡

数回、前立腺をペニスで突き、
女を何度か絶頂させた後、
ペニスを奥深くに埋めていく…

フニ
フニ
フニ♡



あひいいいんっ♡

ケツ穴の奥から…

子宮に当たってえ…♡

ゾクゾク
ゾクゾク

じゅ
じゅ
じゅ

じゅ
じゅ
じゅ



胸があつ♡

キュンキュンしちゃいまして♡

ゾゾゾゾゾ

ああああ♡

ご主人様あ♡

ご主人様あ♡

じゅっ♡

じゅっ♡





とっ

グッ

あひいひいん♡

ぴゅ

うっ

じゅ
ゅ
ゅ
ゅ
ゅ

じゅ
ゅ
ゅ
ゅ
ゅ



あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡

あひっ♡
あひっ♡



とっ

ぐわんぐわん

いひひひんて♡

ぴゅ
ゅ

じゅ
ゅ
ゅ
ゅ
ゅ

じゅ
ゅ
ゅ
ゅ
ゅ

早漏の雌奴隷なので、
少しケツ穴を責めただけで
すぐに絶頂してしまう

その後も幾度となく絶頂させ続けた

あひっ♡

あ♡

あ♡

じゅっ♡

じゅっ♡



女は白目を剥きながら、
自身の排泄物に埋もれ、
気絶した。

不細工な表情を晒し、
まさに変態雌奴隷に
相応しい姿だ...



ぐわん

ぐわん

元はオナニーも知らない淑女だったが、
私の調教を受け、
今では立派な変態雌奴隷へと成長した

しかし、まだまだ教えてやれる変態性癖はある

んんんん...

びん...

クク

クク



スパンキングなどの被虐の悦びや、
浣腸や食糞などのスカトロの悦び…

今後に変態の極みへと導いてやろう。
これからが楽しみだ…

んんんん…

びん…

クク

クク



2
年
後
：



んぐらうらうらう!

んぐらうらうらう!

んぐらうらうらう!

んぐらうらうらう!

んぐらうらうらう!

んぐらうらうらう!



んんんんんーっ！

ツ、ツ、ツ

ツ、ツ、ツ

んんんん

んんん

と
ツ
ツ
ツ

んんんん

ツ
ツ
ツ
ツ

ツ
ツ
ツ
ツ

おそらく、気絶しているのだろう

ケツ穴に挿さったバイブを抜き取り、
本日の「餌やり」を終えることにした





ん...っ

クク

クク

ん...っ

クク

ん...っ
ん...っ
ん...っ
ん...っ
ん...っ

クク

クク

女を拘束する触手を解くことになった

目隠しを外してみたが、
白目を剥いており、
意識は朦朧としているようだ

ん…

ビク

ビク

ん…

ビク

ヒク

ヒク





最初は嫌がっていた自身の排泄物の食事だが、私の教育のおかげで、今では大好物になったようだ

あ...♡
ま...♡

特に精液の匂いと苦味がたまらないのだという

好物を満腹食べて、幸せそうな表情で気絶している...

ヒク

ヒク

私は女の衣服を剥ぎ取り、全裸にしてみた

乳房は常人のものとは思えないほど膨れ上がり、
ペニスは胸まで届くほどの大きさがある

あゝ
まひ

ヒク
ヒク



また、自身の精液を好んで飲み、
ケツ穴を弄られないと満足できない性癖を持つ

あ...♡
ま...♡

ヒク

ヒク



誰がどう見ても変態だ

あ...♡
ま...♡

この無様な変態女を私が作ったのだ

ヒク

ヒク



私は女の姿を眺め、
そして、調教に達成感を感じながら、
本日の餌やりを終了したのだった。

あ...♡
ま...♡

ヒク
ヒク





Fin